

進路だより 第1号

令和7年（2025年）

4月24日発行

球磨支援学校進路指導部

1年間よろしくお願ひします

進路指導部では、個々のキャリア発達を促す学習の推進と在学中・卒業後と心豊かな生活を送れるよう、現場実習・就業体験、高等部卒業後の就労・サービス利用の調整、卒業生の追指導（アフターフォロー）、関係機関との連携などを行っています。この進路だよりでは、現場実習の様子の紹介や障がい福祉サービスや進路に関する情報の提供等、様々な発信を行います。1年間、どうぞよろしくお願ひいたします。

令和6年度（2024年度）卒業生の進路状況

高等部卒業生12人は、福祉サービス等を利用しながら、早い生徒は昨年度の3月末から新生活をスタートさせています。進路指導部では、卒業後3年間を目安に追指導（アフターフォロー）を行っています。

球磨支援学校卒業生進路先

進路先	人数	(R5年度)
一般就労	3人	(1人)
就労継続支援A型	2人	(3人)
就労継続支援B型	3人	(2人)
生活介護	3人	(1人)
自立訓練	1人	(0人)
自宅・その他	0人	(2人)



上記の表の就労継続支援A型、就労継続支援B型、生活介護が高等部の進路先として最も多く、進路の7割～8割をしめています。「就労継続支援」「生活介護」と併せて簡単に説明します。

就労継続支援A型

一般就労に不安を感じている人や企業で働くことが困難な人を対象に、支援を受けながら働く場所を提供する福祉サービスです。事業所と雇用契約（最低賃金、時給952円以上が発生）を結びます。雇用契約に基づき定年まで働くことができます。

就労継続支援B型

就労継続支援A型よりも比較的簡単な作業を短時間から行うことが可能な福祉サービスです。事業所と雇用契約を結びません。そのため、賃金（給与）という形ではなく、生産活動の対価として工賃が支払われます。

自立訓練

就労や自立に具体的なイメージをつけるために、年単位でゆっくり自己理解を深めていきたい方や、生活基礎力を高めたり、取り戻したりしたい方が利用します。

生活介護

自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上を目的に様々なサービスを提供し、障がいのある方の社会参加と福祉の増進を支援する福祉サービスです。

進路関係の主な行事や取組（予定）

月日	行事	小	中	高			備考
				1	2	3	

I 現場実習（高等部）

6月 5日～18日	高等部現場実習①					○	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実習前に実習先に事前挨拶と実習最終日付近に評価会があり、保護者のご参加もお願いしています。 ・高等部3年生は現場実習③の後、個別に実習をすることがあります。
7月 1日～11日	高等部現場実習②					○	
9月 8日～19日	高等部現場実習③					○	
10月 6日～17日	高等部現場実習④					○	
12月 1日～12日	高等部現場実習⑤			○			

2 進路相談（面談）

6月～7月	小学部6年中学部教育相談	○					
7月	進路面談（実習振り返り）				○	○	
9月	中学部3年進路相談		○	○	○	○	
11月	進路相談（実習振り返り）				○		
2月	中学部1、2年個別・進路相談 高等部進路面談（実習振り返り）		○	○			

3 追指導（アフターフォロー）

通年	追指導	高等部卒業生が対象	職員が電話や就業場所へ訪問し様子を伺います。
----	-----	-----------	------------------------

4 その他

4月	進路希望調査・アンケート	○	○	○	○	○	
夏季休業中	高3求職登録					○	企業就労希望者対象
	高3障がい者就業・生活支援センター「みなし」登録					○	
8月以降	B型アセスメント実習					○	B型事業所希望者
11月	中学部仕事体験（校内）		○				
	中学部職場見学		○				
冬休み～随時	福祉サービス受給者申請					○	福祉サービスの利用決定後
2月～3月	就労移行支援会議					○	保護者の参加をお願いします。

進路指導部より

実際に進路を考えるにあたっては、お子様の年齢や発達段階が異なるうえ、関係する機関が増えたり、難しい用語が多くなりするので、漠然とした不安を感じている方も多いと思います。

進路のことで困ったことや質問がありましたら、進路指導部や担任にぜひご相談ください。

よろしくお願いします

